



とねっと協議会だより VOL.2

【参加施設数】 119（中核施設11、病院・診療所103、検査施設5） 【参加住民数】 12,887人（8月末日現在）

発行日／ 平成25年9月13日 発行／ 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局
電話番号／ 0480（63）0003 FAX／ 0480（63）0033 URL／ <https://sites.google.com/site/tonetsince2012/>

平成25年8月27日(火)に第7回協議会臨時総会が開催されました。総会では、報告事項及び提案した4つの協議事項について協議され、提案のとおり承認されました。

●県立がんセンターの「とねっと」参加が決定

県立がんセンターの「とねっと」への参加が正式に決定し、平成26年4月から連携が開始される見通しとなりました。「とねっと」への接続は、従来の中核病院の接続に準じて、協議会が連携用ゲートウェイ設備を貸与し、維持費については、同センターにご負担いただくこととなりました。同センターの参加によって、がん予防・がん治療における各参加医療機関との連携の強化が期待されます。

●検査データを自動で「とねっと」に取り込む

臨床検査会社集約システム(仮称)の導入を決定

「とねっと」に未参加である臨床検査会社の検査データも自動で「とねっと」に取り込めるようにする「臨床検査会社集約システム(仮称)」の導入が決定されました。このシステムの実現によって、より多くの検査会社から検査データを取り組めるようになります。「とねっと」側のシステム改修も必要となるため、次回の協議会総会で契約内容などが協議される予定です。

●(新)埼玉県救急医療情報システムと「とねっと」の接続、契約方法等を決定

両システムの接続は、安全なIP-VPN回線(専用線)で行うこと、また、契約主体は協議会と開発業者とし、費用は、埼玉県にご負担いただくことが決定されました。

「とねっと」の救急タブレット端末から「とねっと」の医療情報と(新)救急医療情報システムの応需情報を交互に参照することが可能になります。(平成26年4月予定)

●財源確保に向けて、国への要望書の提出を決定

協議会会長、医師会長、構成市町の長及び中核病院の長の19名の連名により、国に財政支援を求める要望書を提出することが決定されました。

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

●診療時間外にも予約できる便利な検査予約機能(C@RNA)をご利用ください。

[予約可能施設]

- ・ 済生会栗橋病院様 (MRI、CT)
- ・ 久喜総合病院様 (CT)
- ・ 加須市医療診断センター様 (MRI、CT、MMG)

●地域連携パス機能をご利用ください。

脳卒中などの患者様の逆紹介や糖尿病治療のための連携などにご利用ください。

●患者様のかかりつけ医カードIDの「紐付け」にご協力ください。

患者情報の登録・参照には、各医療機関で患者様のカードIDを「とねっと」に登録していただく必要があります。協議会事務局による「紐付け」作業の代行も可能です。ぜひ、ご利用ください。

◆◆◆ 利用者の声 ◆◆◆

協議会ヒューマンネットワーク担当部長

遠藤康弘 先生(済生会栗橋病院院長)

「とねっと」の本格稼働から1年が経過しました。救急搬送時における医療情報参照を始め、検査予約や糖尿病連携パスなども動き始めています。

基幹病院の当院としても、「とねっと」予約システムのより一層の普及のために、地域支援課(地域連携室)による医療機関訪問を開始しました。また、新たに外来や入院だけでなく人間ドック利用時におけるかかりつけ医カードの取得や紐付けも呼びかけ、とねっと健康記録の利用を推進しているところです。

私自身も協議会のお許しを得てかかりつけ医カードを頂きました。過去15年に及ぶ検診データをインターネット経由でとねっと健康記録から入力しました。今後は、検診・診療データが検診・診療を受ける度に自動的にとねっとサーバーに保存されます。「とねっと」参加病院へお世話になる際も、過去データとして活用されるだけでなく、データの一部(特定検診項目相当)はインターネットを通じて日本中・世界中から閲覧可能となりました。最近では自分のスマートフォンを使って健康記録を参照しながら、患者さんや住民の方にも使い勝手をアピールしているところです。

様々な機能をもっている「とねっと」です。中核医療機関・病院・診療所・患者さん、そして健康な住民の方など様々な立場にある方々が、まずは簡単に使えるところから少しずつ利用してみてください。それが「とねっと」を利用した医療連携を軌道に乗せる糸口であると考えています。

よろしくご協力お願い申し上げます。

